

岡山県内13駅で25春闘行動を展開

「給料上げて」いっしょに声を上げよう

地域総行動で訴える・鴨方駅

物価高騰で生活が厳しく

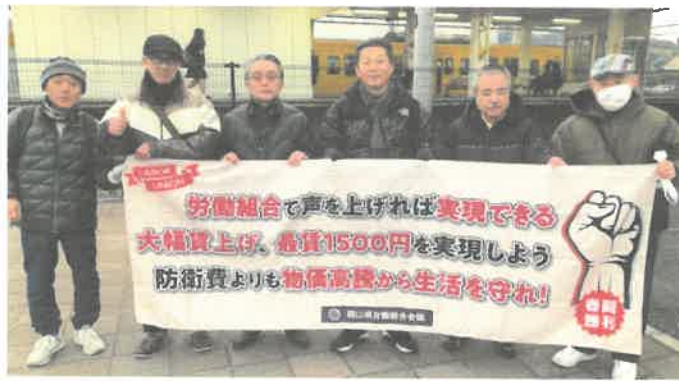
なるばかりで、大幅賃上げ

が求められている。

大幅賃上げを求めて

国労は、2月13日に全国一斉、JR各社に17000円のベアを求めて申入れを行った。

3月には春闘行動も計画しており、大幅賃上げを求めて、岡山からも皆で声を上げていく。



2月12日、県労会議は岡山県内の岡山・倉敷など、15の主要駅頭において早朝宣伝行動として「地域総行動」を行い、2025年春闘における賃上げを訴えるチラシを配布した。

国労は、鴨方駅を受け持ち300枚のチラシ入りのテッシュを配布した。



米国海兵隊単独訓練反対！

2・11反核・軍縮・日本原基地撤去を求める岡山県民集会

2月11日、陸上自衛隊日本原演習場のある岡山県奈義町において「米国海兵隊単独訓練反対！2・11反核・軍縮・日本原基地撤去を求める岡山県民集会」が日本原軍事基地撤去共闘会議主催により開催された。集会には24団体200名が参加し、3月14日～21日に計画されている米国海兵隊による7回目の単独訓練の中止と日本原自衛隊基地撤去を訴えた。

集会は、主催者を代表して宮田好夫議長から「今年度は、世界大戦が終結し80年目の年である。日本被団協

2025年春闘勝利！芸備線を存続させ

公共交通を守る3.4街宣行動

2025年3月4日（火）岡山地本・支部主催
新見市内及び芸備線沿線における街宣行動

のノーベル平和賞受賞の意義を真正面に受け止めなくてはならない。ここ日本原から軍事基地撤去の声を強く発信していこう」と挨拶した。恒例となった大声コンテストでは、「戦場のない地球を」「被団協ノーベル平和賞おめでとう」との声を奈義山に響かせた。

最後に集会決議を確認し、「米国単独訓練反対」「日米地位協定見直し」のプラスタを掲げて集会を終えた。